



# 小・中学生の『挑戦』や『悩み』に応える！ 深谷の学校教育

## 学習のつまずきを克服！学力向上の支援策

深谷市の公立小・中学校には、子どもたちの学習のつまずきの早期解決と確かな学力を育成するための、さまざまな取り組みがあります。子どもたちが、授業で学習した内容を復習することや、目標に向かって努力するために、適切な学習支援を行い、「一人ひとりの『学びたい！』という気持ちを引き出し、応援しています。」

### 中学校の学習支援

#### 中学生検定サポート 英検・数検 受検料全額補助

##### 中学校2年生対象

数学検定（数検）の受検料1回分を全額補助

##### 中学校3年生対象

英語検定（英検）の受検料1回分を全額補助

※英検対策支援あり

中学生の該当学年に、英検と数検の受検料を全額補助しており、おむね全員の中学生が英検・数検にチャレンジしています。  
また、受検料の補助だけではなく、対策講座などを行い、より多く

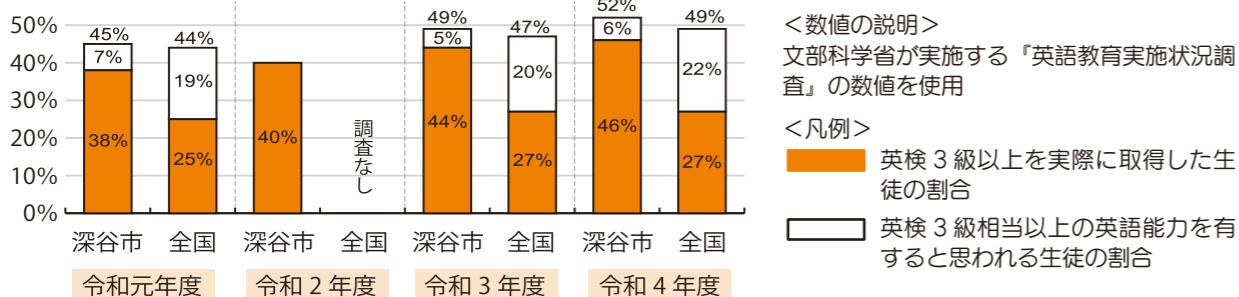
多くの生徒が合格できるような支援をしています。

英検の取得状況（下記「中学校3年生 英検3級レベル取得状況」参照）を見ると、深谷市の中学生は、全国よりも3級を実際に取得した生徒の割合が多くなっています。また、英検を実際には取得していないものの、同レベルの水準にある中学生の割合を入れても、全国を上回っている状況が見受けられます。

国際化に対応できる力をより一層身に付けさせるため、リスニングやスピーキングの力を向上させていくことが今後の深谷市の課題となっています。



中学校3年生 英検3級レベル取得状況



#### 中学生向けフォローアップ ステップアップレッスン

##### 中学生対象

塾に通っていない生徒や、進路決定を控えた3年生など、学習に不安を感じている生徒を対象に、補習学習を行っています。

数学・英語・国語を中心に、週に1〜2回、放課後の1時間程度を利用して補習学習を実施しています。  
生徒が、一人ひとりの学習レベルにあった問題を解き、分からないところを教わりながら、学習への不安を解消できるように進めています。生徒の学力を確実なものとする一方で、進路指導の充実につながっています。  
学習のサポートには、各中学校に配置された中学校学習支援員などがあたり、よりきめ細やかな指導を行っています。

学校生活の中で、子どもたちは、『勉強は苦手だけど頑張っ  
て夢をかなえるぞー』と目標に挑戦したり、『学校に行くの  
がしんどいな』など悩んだりすることがあります。  
今の特集では、そんな子どもたちの『挑戦』を応援し  
たり、『悩み』の解決をサポートしたりするために、深谷市  
の公立小・中学校で行っている取り組みを紹介します。

## いま、子どもたちに必要な支援とは？

子どもたちに、変化の激しい社会をたくましく生き抜く力や、社会を形成する主体者としての資質を育むことは、教育の大きな役割です。

深谷市の公立小・中学校では、子どもたちが夢や目標を実現し、未来を切り拓くのに必要な確かな力を身に付けられるよう、『学びの充実』と『教育環境の充実』を図っています。

また、誰もがお互いを尊重し、連携・協働する意識を高めながら

個性や能力を輝かせていけるよう、障害などの有無に関わらず、すべての子どもたちが同じ場で学ぶ「インクルーシブ教育」を進めています。

文部科学省の調査では、小・中学校の通常の学級に在籍する子どもの8・8%が、学習面や生活面で特別な教育的支援が必要という結果もあり、各学校において、児童生徒一人ひとりの学力や困り感に合わせた支援が、必要とされています。



## 学校総合支援員が 児童生徒や学校のニーズに合わせた サポートを行っています



深谷小学校 学校総合支援員  
細野佳司さん

Interview  
学校総合支援員に  
聞きました

### 学校総合支援員はどのようなことを行っているのですか？

学校総合支援員は、アプローチルームの運営を主な業務としながら、子どもたちが学校生活をより過ごしやすいようになるために、児童生徒や各学校のニーズに合わせたフォローをしています。

周りが考えている以上に、子どもの持つ悩みは多岐にわたっています。「アプローチルーム」を利用するなど、気持ちを休める「ほっとできる居場所」を提供していきたいですね。

### 学校生活を送る子どもたちと保護者にメッセージをお願いします！

学習や人間関係で苦手なことがあっても、あせらずに学習や経験を、一つ一つじっくりと積み上げていきましょう。

小・中学校を通して、つまずいたり悩んだりすることは、誰にでもあります。そして「味方」は必ずいます。一人で抱え込まず、まずは誰かに話をしてみましょう。どこかで解決の糸口が見つかるはずですよ。

## 登校できない時も状況にあわせてサポート

長期欠席や不登校の傾向がある子どもたちにも、基礎学力や社会性を身に付け、社会的自立の基盤づくりを支援するためのサポート体制があります。

「教育支援センター」として、深谷市立教育研究所に、昼間の「いきいきスクール」と夜間の「いきいきナイトスクール」を開設する予定です。

### 小学校の学習支援

#### 土曜日に国語・算数を学習 がんばル〜ム

##### 小学生対象

土曜日の午前中、市内全19小学校の余裕教室を利用して、国語と算数の学習など行います。

#### 小学生向けフォローアップ ふっかちゃん 夕焼け計算道場

##### 小学校4年生対象

週に1回、放課後を利用して、算数の学習をしています（参加には要件があります）。

国語と算数を中心に、教科書の学習や宿題などを進めることができます。子どもたちをサポートするのは、「いききの先生」といわれる地域のかた。多くの大人が子どもの学習を見守っています。

教育委員会作成のプリントを通して、学習内容が難しくなる小学校4年生で、算数の学習内容（数と計算）の定着をフォローしていきます。指導スキルのある地域のかたによる個別の学習指導を行っています。



▲大きな机やリラックスできるスペースを設けている「アプローチルーム」の室内

校に設置し、学校生活に不安がある子どもたちへの直接の学習支援や、オンラインによる授業参加などを含めた「つながり支援」を行っています。

## 不登校などの 児童生徒への支援

～多様な場における支援の例～

### いきいきナイトスクール

(教育研究所)  
夜間での指導

### いきいきスクール

(教育研究所)  
昼間での指導

### アプローチルーム

(各学校)

学校の一室での指導

※その他、フリースクールなど

### 保護者の思いに寄り添い伴走する 交流会を実施しています

### 不登校に寄り添う親の交流会

同じ悩みを持つ保護者同士の交流・不登校の子どもを持つ保護者の体験談などを行っています（予約不要）

**とき** 11月6日(月)、12月4日(月)、令和6年2月5日(月)午後1時30分～2時30分

**ところ** 教育研究所（本住町12-8）

**連絡先** 教育研究所 ☎048-572-9456

## 幅広い人材が子どもの学習と生活を支援

深谷市の公立小・中学校には、今回紹介した支援をはじめ、子どもたちを学習・生活面で幅広くサポートするための、さまざまな支援員や相談員を配置しています。こうしたことで、個に応じた指導や、専門的な教育を展開するこ

とができ、子どもたちの学習意欲の向上につながっています。これからも、学校・家庭・地域との連携のもと、将来の社会を担う深谷の子どもたちが、確かな学力と豊かな心を育めるよう、必要な支援の充実を図っていきます。

### 市が学校に配置している職員など

職種	人数	職種	人数
学校アシスタントティーチャー	19	小学校英語指導アシスタントティーチャー（EAT）	8
外国語指導助手（ALT）	16	小学校教科支援エキスパート	17
日本語指導員	11	中学校学習支援員	10
理科支援員	6	中学校学力向上支援員	10
ふっかちゃん夕焼け計算道場の道場指導者	61	学校司書	29
学校総合支援員	25	インクルーシブ支援員	19
特別支援補助員	34	教育相談員	10
医療的ケアを実施する看護職員	1	小中学校スクールライフサポーター	2
ICT支援員	9	部活動指導員・部活動外部指導者	47
教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）	28		

・合計 362 人（令和5年10月1日現在）  
・配置に係る令和5年度深谷市予算：約2億8,988万円

### 市が教育研究所に配置している主な職員など

職種	人数	職種	人数
教育研究所専門員	9	学校福祉相談員	5
発達支援アドバイザー	2	教育支援センター（夜間）指導者・指導補助者	4
専門カウンセラー相談員（臨床心理士）	1		

・合計：21人（令和5年10月1日現在）  
・配置に係る令和5年度深谷市予算：約4,420万円